

結果の概要

1 労働争議の種類別の状況

令和3年の労働争議の状況を見ると、「総争議」の件数は297件、総参加人員は60,389人となっており、前年に比べ、件数は6件(2.0%)減、総参加人員は2,963人(5.2%)増となった。「総争議」の件数は、過去2番目に低く、減少傾向にある。

このうち、「争議行為を伴う争議」の件数は55件、行為参加人員は7,858人となっており、前年に比べ、件数は2件(3.5%)減、行為参加人員は1,845人(30.7%)増となった。(第1表、第1図、11頁附表)

第1表 労働争議の種類別件数及び参加人員の推移

年次	総争議		争議行為を伴う争議			争議行為を伴わない争議	
	件数	総参加人員	件数	総参加人員	行為参加人員	件数	総参加人員
平成29年	358	132,257	68	72,637	17,612	290	59,620
30	320	103,342	58	51,038	10,059	262	52,304
令和元年	268	105,340	49	57,345	17,763	219	47,995
2	303	57,426	57	32,436	6,013	246	24,990
3	297	60,389	55	38,540	7,858	242	21,849
令和3年の 対前年増減数 (件・人)	△6	2,963	△2	6,104	1,845	△4	△3,141
令和3年の 対前年増減率 (%)	△2.0	5.2	△3.5	18.8	30.7	△1.6	△12.6

第1図 労働争議の種類別件数の推移

